

# 建設分野技術職のキャリアアップガイド

## 人材育成の基本的な考え方

全職員の指針となる目標である「愛知県人材育成基本方針（改訂版）」が掲げる目指すべき職員像の実現に向けて、総合的な人材育成を推進するとともに、専門分野における職員を計画的に育成する。

特に、建設行政に携わる技術職員については、多様化・高度化する社会情勢の中で、県民の建設行政に対する要請に的確に応える体制が求められている。

そのため、技術職員として必要な専門知識を持ち、幅広い視野と高い課題解決能力を備え、行政のプロとしての意識と高い専門能力を持って行動できる職員を育成する。

2025年9月作成

建設企画課 人材確保・育成G

# 建設分野技術職のキャリアアップガイド

建設分野技術職員の職務は、道路・河川を始めとする社会基盤の分野において、企画・立案、設計・積算、施工管理、維持管理等広範囲にわたっている。その広範囲にわたる職務を行うための人材育成は、職員と組織双方のためのものであり、職員と組織それぞれの責務であるという視点で行っている。

人材育成は、多様な職務経験を通じて幅広い視野や知識を身に付け、適性を見いだすための『ジョブローテーション』と、職員の知識・能力・技術力向上などのための『職員研修』を柱として実施している。

このキャリアアップガイドは、職員が年次ごとにどのようなポストや立場でどのような職務を選択し、年次ごとにどのように進んでいくのかという道筋を描き、そのための努力目標や自分の向かう方向を理解するために作成したものである。

## 【内容】

### 1. 建設分野技術職員の各職級（職名）及び役割

今後の昇任の流れ、及び、各職級(職)における自らの役割を確認することに役立てる。

### 2. 建設分野技術職のジョブローテーション

職務経験を積むため行っているジョブローテーションの方針を把握することにより、  
今後の進路を考えることに役立てる。

### 3. 建設分野技術職の研修体系

自治研修所や建設技術研修の全体像を掴むことにより、研修を通じた自己研鑽に役立てる。

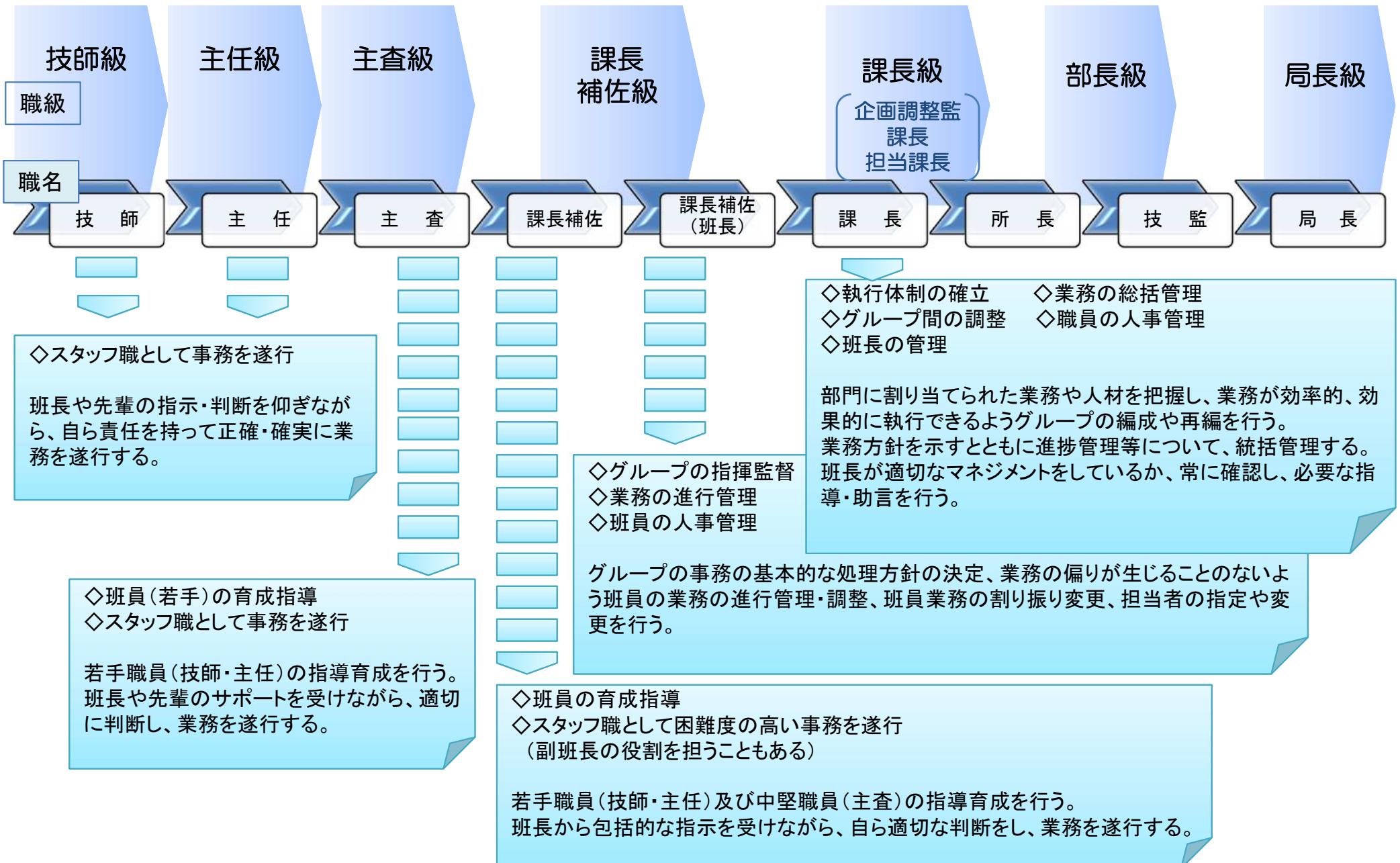
### 4. 建設分野技術職の研修ロードマップ

新規採用からキャリアを積み重ねていく過程で受講する研修の全体像を掴む。

### 5. 建設技術研修のうち必須講座

若手職員が受ける必須研修の時期、内容を把握することにより、研修受講時期の計画を立てることに役立てる。

# 1. 建設分野技術職員の各職級(職名)及び役割



## 2. 建設分野技術職のジョブローテーション

採用から8年間

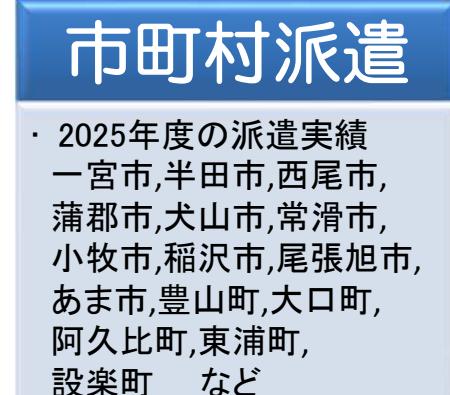
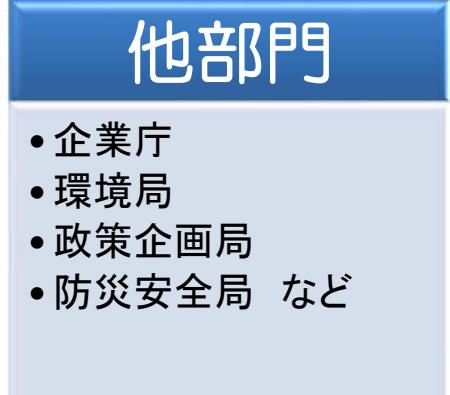
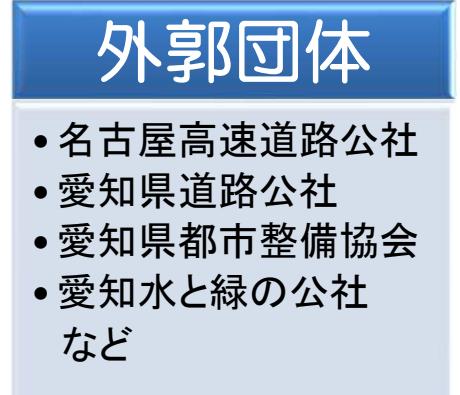
基礎的な技術・知識を習得するとともに適性を見出すため、以下の内容を経験できるよう計画的に異動を行う。

- ①3カ所の所属を経験する。
- ②計画・調整業務部門、建設・施工管理の部門及び維持管理・施設管理の部門のうち、少なくとも2部門を経験する。
- ③可能な限り、本庁を経験する。

※民間企業等職務経験者試験による採用者は、ジョブローテーションの対象としない。異動には、経験を活かせるように配慮する。

主査級  
9年目昇  
からまで

ジョブローテーションの基準を満たしていない場合は、達成するための異動を行うとともに、重点ヒアリング及びキャリアビジョンを尊重して、できる限り本人の意向や能力・適性に応じた異動を行う。



幅広い視野を身に付けるため、可能であれば複数部門等(県関係団体、国等県外部の機関を含む。)を経験する。

ジョブローテーション後は、それまでに培ってきた経験・実績・知識・能力を元に、適材適所に人員配置を行う。

### 3. 建設分野技術職の研修体系

#### 建設技術研修

下線\_\_\_\_は必須

##### 一般研修

- 建設部門初任者研修
- 土木系新規採用職員研修
- 新規採用職員
- 課長補佐級技術職員研修

##### 基礎研修

###### 土木基礎研修

- 土木行政基礎講座 I
- 土木行政基礎講座 II
- 維持管理基礎講座
- 測量設計業務委託監督基礎講座
- 土木工事監督基礎講座

###### 共通基礎研修

- 入札契約制度基礎講座
- 技術者のための用地基礎講座

#### 派遣研修

#### 外部研修

#### 実務研修

##### 土木(共通)実務研修

- 橋梁(設計、維持補修)実務講座
- 橋梁維持補修(橋梁点検)講座
- 道路維持行政実務講座
- 道路計画実務研修
- 河川行政実務研修
- 河川計画実務研修
- 事例で分かる土木設計実務講座
- 設計エラー防止実務講座
- 土木施工技術実務講座
- 災害実務講座(講義形式)
- ICT活用工事実務講座

##### 環境管理講座

##### 技術士受験支援講座

#### 特別研修

##### 土木特別研修

- 施工監理研修(現場)OJT
- 災害実務講座(演習形式)

##### 共通特別研修

- CAD講座(初級、中級、ICT)
- 防災実務講座

#### その他人材育成・研修制度

##### トレーナー制度

##### やりたい仕事挑戦制度

##### 極めたい分野挑戦制度

##### 民間企業大学院への派遣研修

#### 自治研修所研修

#### 指名研修

##### 新規採用職員研修

- 新規採用職員研修  
(前期、中期、後期、防災基礎、短期)
- 採用2年目職員研修  
(県税、NPO・福祉施設)

##### 採用3年目職員研修

##### 採用3年目職員研修

##### キャリアマネジメント

- 採用7年目キャリアマネジメント
- 主査級キャリアマネジメント
- 課長補佐級キャリアマネジメント

##### トップセミナー

- 課長級トップセミナー
- 幹部級トップセミナー

##### 管理・監督者研修

- 新任班長研修
- 新任担当課長等研修

#### キャリアアップ研修

##### 能力開発期研修

- 能力開発研修・前期  
(技師級、主任級)
- 能力開発研修・後期  
(技師級、主任級)

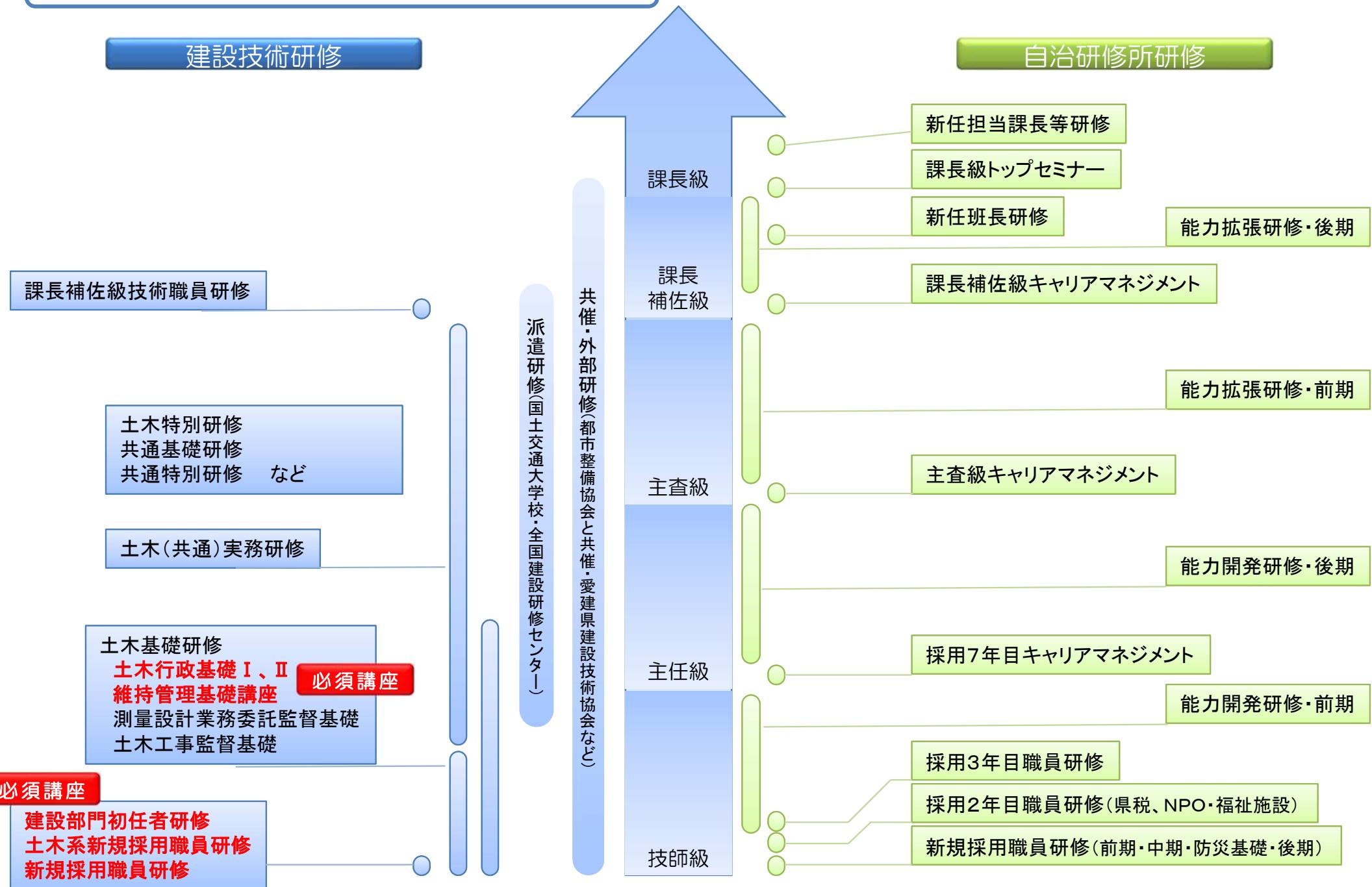
##### 能力拡張期研修

- 能力拡張研修・前期  
(主査級)
- 能力拡張研修・後期  
(課長補佐級)

#### 特別研修

- 講師養成研修
- トレーナー養成研修
- コンプライアンス研修
- OJTコーチング研修
- 組織力強化研修
- 実践型問題解決研修
- 実務スキル向上研修
- オープンセミナー
- 管理職向け女性職員活躍促進セミナー
- 育児支援・キャリアガイダンス

## 4. 建設分野技術職の研修ロードマップ



## 5. 建設技術研修のうち必須講座

### 採用1年目に受講

#### 建設部門初任者研修

新規採用及び新規に建設部門へ配属された職員に対し、年度当初に建設部門が行う事業の全体像を示し、基礎知識の習得により、その後の円滑な事業執行を図る。

#### 土木系新規採用職員研修

建設部門に配属された新規採用技術職員(土木系)に対し、年度当初に土木に関する建設技術の基礎知識の習得により、その後の円滑な事業執行を図る。

#### 新規採用職員研修

建設局、都市・交通局及び建築局に配属された新規採用職員に対し、道路啓開を題材としたグループワークの実践体験を通して、様々な意見を出し合い、新たな発想を得ることで、職員相互が協働して課題解決をする能力の向上を図る。

### 採用5年目までに受講

#### 土木基礎研修

実務経験の少ない土木系技術職員に対し、各分野の事業の概要を示し、土木事業の全体像の把握と実務能力の向上を図る。

- ・土木行政基礎講座Ⅰ（道路・都市計画・市街地整備）
- ・土木行政基礎講座Ⅱ（河川・砂防・港湾・下水道）

公共施設の長寿命化・安全性確保のために不可欠な「維持管理」の基本的な考え方や手法に関する講義を行い、インフラの老朽化に対応する技術力の向上を図る。

- ・維持管理基礎講座